



日本体育協会公認
茨城県スポーツ指導者協議会

会報

第 59・60 合併号

平成22年3月1日

発行人
茨城県スポーツ指導者協議会
会長 照 沼 一 美
事務局 〒306-0204
古河市下大野1463-4
事務局長 鈴 木 義 夫
会員数966名 (H22. 1.20現在)



中央研修会 (H21. 8.30)

日本体育協会公認
スポーツ指導者のために

資質向上と
活動の推進を

連帯感を深め
組織的活動を

目 次

会長就任あいさつ	2
理事長就任あいさつ	2
平成21年度本協議会活動報告	3
平成21年度全国公認スポーツ指導者研修会報告	
受賞者あいさつ	4・5
平成20年度収支決算報告書	6
平成21年度本協議会事業計画書	7
平成21～22年度本協議会役員選出について	7
平成21年度収支予算書	8
支部だより	9・10
みんなの広場	11・12

茨城県スポーツ指導者協議会の今後の歩む道 会長就任あいさつ



茨城県スポーツ指導者協議会会長
照沼 一美

茨城県スポーツ指導者協議会会員諸氏諸兄並びに本協議会会報をご愛読の皆様に、改めまして本茨城県スポーツ指導者協議会へのご協力並びに、ご鞭撻を賜り感謝を申し上げます。

去る平成二十一年五月開催いたしました、平成二十一年度茨城県スポーツ指導者協議会総会において、出席関係各位のご推薦を賜り、第四代の茨城県スポーツ指導者協議会の会長に、就任させていただきました。もとより、浅学非才の身上のこと、関係各位のご期待に添える自信は毛頭持ち合わせておりません。会長職を全うさせていただきますために、粉骨精神を傾ける所存であります。関係各位の皆様が多様なご指導を賜ることで、明日へ向かっての第一歩を、着実に歩み進めてまいりたく、更なるご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

前任の会長、野田洋平様におかれましては長期に亘り、元茨城大学教育学部教授（後、名誉教授）という指導経験を生かした、力強い指導力で、茨城県スポーツ指導者協議会を高い位置に押し上げていただきました。

元はと言えば、昭和五十三年当協議会発足以来の、前々会長の永島治様の突然のご逝去の後、無理にお願ひした会長職を淡々とお進めいただきました。誠に多大なるご苦勞をお掛けしながら、一片の御礼をも出来ないままに、現在に至っておりますこと、お詫びを申し上げます。心から感謝の意を表し御礼を申し上げます次第であります。

誠にありがとうございます。平成二十一年現在、(財)日本体育協会並びに各県の(財)体育協会として各県のスポーツ指導者協議会は、我々スポーツ指導員たる有資格者それぞれが、目的を持って資格取得しながら、何時の日からか高齢者の仲間入りをし、更新を怠ってしまった、過去の仲間達との別離に、幾ばくかの意識を交換し、高齢者の有資格者並びに、現役の有資格者の安定的な利用・活用先を求めて、各地へ「総合型地域スポーツクラブ」の設立を推進しているところがあります。

しかしながら、年々歳々全国的に有資格者の更新率がマイナス傾向を続けております。当茨城県に

起きましても、その傾向は全国の指数に並んでいると言えます。

その一方、茨城県は(財)茨城県体育協会のご指導並びに関係競技団体の積極的なご協力により、平成二十一年度スポーツ指導員等資格取得養成講習会が実施され三種目（バレーボール・バドミントン・弓道）で百名を超える方々が資格取得へ挑戦され、我々の仲間入りを目指しております。

茨城県スポーツ指導者協議会は、各有資格者と肩を組み、最新情報伝達のための事業を実施し、より高い意識を持った仲間づくりを目指しております。一人でも多くの方々現在の資格を続け更新されまます様、本協議会の役割は大きな責務を要していると言えます。

茨城県スポーツ指導者協議会の発展向上は、各支部の活力と確実な経営に係っております。それぞれの有資格者の皆様におかれましては、一人でも多くの仲間づくりをされ、有意義な資格活用に努力されますよう、ご期待いたしております。

この会報をお読みの方で茨城県スポーツ指導者協議会へ入会されていない有資格者の方は、一日も早く会員になられますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

理事長就任にあたって



茨城県スポーツ指導者協議会理事長
小澤 一友

公認スポーツ指導者制度が昭和六十三年八月二十四日に施行されはや二十年の経過をみました。茨城県スポーツ指導者協議会会員の皆様各々の立場での指導、実践と研修を重ねておられることに対しまして、敬意を表するところであります。

近年、日体協では、今後のスポーツ活動において、各都道府県の体協を通じて、「総合型地域スポーツクラブの設立」に向けて取り組みを支援しております。

我々有資格者は、各々の指導に努め乍ら、地域におけるスポーツ活動にも目を向けていくことが必要になってきた時期に向かってきております。茨城県スポーツ指導者協議会としても、こういう点を視野に入れて活動してゆかねばならない状況であります。今後指導者各位の活動の場は広がりそうですが、地域の状況に応じて、日頃の活動がスムーズに、可能性の拡大に向けて頑張っていきたいと考

えております。

指導協の各位におかれましては自分の生活とのバランスを取りながら、指導者としての規範意識を明確に持続し、ワークバランスをもち、環境を見ずえて活動されま

すよう希望致します。
このような観点から、指導協が少しでも前進できるよう、微力ですが努力していきたいと考えておりますので、会員の諸先生方の更なる発展の為の御協力を賜ります様をお願いいたします。

平成二十一年度 本協議会活動報告



鈴木 義夫

茨城県スポーツ
指導者協議会事務局長

平成二十一年度の活動内容をご報告申し上げます。

今年度本協議会総会は平成二十一年五月十六日に茨城県青少年会館で開催して「平成二十一年度事業報告及び収支決算報告書」並びに「平成二十一年度事業計画案及び収支予算書案」の承認を得ました。

本協議会の主催事業は中央研修会を研修委員会が主管で八月三十

日に水戸市茨城県立青少年会館で開催して百六十五名の参加がありました。さらに地区研修会は鹿行支部が主管で平成二十二年一月三十一日に行方市北浦公民館で開催計画され及び県西支部が主管で平成二十二年二月二十一日に古河市ユースセンター総和で開催が計画されています。

平成二十一年関東ブロック会議は埼玉県スポーツ指導者連絡協議会が主管して六月二十六日～二十七日に埼玉県さいたま市「さいたま共済会館」に於いて開催され本協議会から三名の役員が出席しました。

平成二十一年度公認スポーツ指導者全国研修会は財日本体育協会が主催して十二月十二日に東京都千代田区「グランドプリンス赤坂」で本協議会から六名が参加しました。さらに財日本体育協会から表彰式に本協議会推薦の菅谷政宏様、中森美紗様、綿引泰子様、松平繁男様の四名が受賞いたしました。

茨城県の財日本体育協会公認スポーツ指導者で有資格者は平成二十一年十一月一日現在三千名であります。本協議会に加入された会員数は平成二十二年一月二十日現在で九百六十六名であり、支部別の会員数「県北支部百四十五名、水戸支部百八名、中央支部二百三十四名、鹿行支部

七十四名、県南支部二百九十一名、県西支部百十四名」であります。

平成十七年十月から、有資格取得後に四年に一回以上の研修会に参加実績のない公認スポーツ指導者には資格更新手続きの案内文書が財日本体育協会から書類の送付が来なくなり。本協議会は会員になられた方々に有資格の有効期限と研修会の案内文書を郵送して財日本体育協会から資格更新手続きの連絡文書が会員に送付されるようご支援いたしますので、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

ホームページを開設いたしました!



www.ibaraki-sports.or.jp/





平成
21年度

全国公認スポーツ 指導者研修会報告

受賞者あいさつ



神栖市

松平 繁 男

全国大会表彰を受けて

去る十二月十二日(土)にスポーツ指導者協議会の全国大会が開催され、その大会で表彰を受ける事となり、大丈夫だろうかと不安を抱きながら参加させてもらいました。

当初、島田先生から問い合わせを受けた際には、何の事だろうと深く考えもしないで答えてしまいました。後日通知が届き驚いて、間違いではと確認をしてしまいました。

思い返してみますと何十年前となりませんが、技術も知識も持ち合わせてはいないが、動く事だけができるの思いだけで皆さんと活動をしていた思い出があります。その間、多くの人達に教えてもら

い、助けてもらいながら今日まで来てしまいました。改めて感謝するばかりです。

今現在では、その動く事さえも怪しくなってきたてしまい、受けてしまった後ですが、本当は表彰に値するの、と考えています。

これからは、勝つ為、記録の為にスポーツと言うよりは、病気の予防の為、健康を維持する為、あるいは、美容の為に運動と言うような、様々な目的を持った要求、要望が増えてくるのではないかと予想しております。

その為に無理なく、楽しく長く続けられる運動、「スポーツは楽しくなければ」、をモットーに活動していければと思っております。

その基本となる、動ける身体を維持する為には、まずはトレーニングと考えています。魅力的な誘惑が多くて、現実はなかなか厳しいと実感しております。



日立市

菅谷 政 宏

私は、所属山岳会・山岳連盟において、指導員として三十数年活動してきましたが、指導員制度が日本体育協会の制度と併合され

てからは、組織外の一般登山愛好者の指導にも関心を持って取り組んでまいりました。特に昨今の中年登山者による遭難事故の増加に関しては、憂慮をしている者の一人です。なんとかならないものかと、グループ登山への同行や講習会を通じて、安全登山の啓発・普及に力を注いできました。

山は気をつければそんなに危ないものではないという経験上の信念のもとに、夢中でやってまいりましたが、表彰式会場に列席していると、これまでの活動が思い起され、感慨深いものがありました。

平均寿命が延びて高齢化社会と言われていますが、延びた寿命を如何に生きるかも関心のあるところです。山の世界でも高齢者登山という言葉が聞かれるようになりました。山登りが出来なくなっても公園でお茶飲み話ができるようなグループの育成もしたいと考えています。人間は足から歳をとると言われていますが、健康維持のためにも生涯スポーツとしての登山を安全に楽しんで頂きたいと、この度の表彰を受けて意を新たにしているところです。

今後とも、ご指導・ご鞭撻を頂きながら、微力ではありますが活動をしたいと考えております。よろしくお願ひ申し上げます。



ひたちなか市

中森美紗

この度、平成二十一年度勲日本体育協会より公認スポーツ指導者として表彰の栄を賜りました。

私をご推薦いただきました茨城県スポーツ指導者県北支部及び茨城県スポーツ指導者協議会の多くの関係各位の御指導によって、スポーツ振興に貢献が出来た事が認めて頂きまして厚く御礼申し上げます。

私は卓球を通して、県北スポーツ指導者協議会を立ち上げる際の発足準備委員に日立市からメンバーとして参画したのが始まりで今に至っております。

今では茨城県スポーツ指導者協議会県北支部として位置づけられて、茨城県スポーツ指導者協議会からの伝達事業だけでなく、県北支部で独自の研修会等を試行錯誤しながらも楽しく活動を続けております。

私は活動拠点が日立市にあるため県北支部に所属していますが、これを機に活動地域を広げてスポーツ指導者のさらなる資質向上と活動促進に努め指導者同士の連帯感を深め、組織的な活動を有意義なものにしていきたいと、思いを新たに致しました。

最後に、公認スポーツ指導者全

国研修会にはじめて参加出来てその充実した内容に感激いたしました。地方にあっても実り多い研修企画が出来るように働きかけていきたい。これからも微力ながらも精一杯皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。



水戸市

綿引泰子

此の度は、スポーツ指導者として表彰状を受賞する機会をいただきありがとうございます。

卓球というスポーツを通して少年団の育成、中学生のクラブ活動、地域のクラブ、スポーツ協議会にとかかわることが出来ました。思い起こせば、卓球少年団を作りにくくて指導員の講習会に参加したのが切っ掛けとなりました。

発足当時は、団長をはじめ指導員皆で無我夢中で指導、運営をしてきました。徐々に体力、技術とを身につけて試合にも参加出来るようになっていきました。熱心な親子、指導により全国大会にも出場するようになりました。

地域のクラブでは、初めてラケットを持つ人、学生時代、社会人として経験してきた人、さまざまなか中で、スポーツの楽しさと生涯

スポーツとして体を動かし健康を維持していけるように指導を続けられました。

スポーツ指導者協議会、茨城県のスポーツ振興に体育協会のご指導をいただきながら活動をしてきました。各地域別にも、盛り沢山の催しや研修会が持たれ、指導員の活躍の場やスポーツ人口が増えますますの発展を期待して感謝の気持ちとさせていただきます。



水戸市

吉原直博

この度、全国スポーツ指導者協議会研修会において、財団法人日本体育協会より公認スポーツ指導員表彰をいただきました。大変光栄なことと、受賞者として今後の活動の重さを感じています。又、推薦を賜った関係の方々には厚く御礼申し上げます。

顧みますと、昭和四十九年の茨城国体に飛込み選手として出場、その後教員として飛込み競技の指導に務めてまいりました。マイナースポーツのため、なかなか部員の確保が難しく大変な時期もありましたが、平成二年現在の県水泳連盟会長の荒川汪先生に相談し飛込み競技としては全国初のスポー

ッ少年団を設立することができました。当初は少人数ではありましたが、水戸市民プールをお借りして指導をしてまいりました。現在は市民プール・笠松運動公園プールをお借りして小中高生の一貫指導体制で初心者から全国大会出場者まで幅広く指導しております。今年度新潟国体に入賞する選手も育つてまいりました。

今後、底辺の拡大を図りながら飛込み競技の魅力を多くの人たちに伝えていくとともに、競技力向上に務めたいと思っております。今このような状況で活動出来るのも地域の皆様方の御蔭と感謝しております。



平成20年度 収支決算報告書

収入の部

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備 考
1. 会 費	960,000	1,226,000	266,000	4,000円×305名・2,000円×3名
2. 助 成 金	360,000	360,000	0	茨城県体育協会 (20年度)
3. 繰 越 金	89,847	89,847	0	前年度繰越金 (19年度)
4. 雑 収 入	20,153	46,038	25,885	利息・委員会返金・関プロ経費
合 計	1,430,000	1,721,885	291,885	

支出の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備 考
1. 会 議 費	149,820	70,483	△ 79,337	
総 会	30,000	23,558	△ 6,442	事務品・切手・会場代・飲み物
常任理事会	10,000	0	△ 10,000	
理 事 会	50,000	46,925	△ 3,075	事務品・切手・会場代・飲み物
総務委員会	0	0	0	
広報委員会	14,000	0	△ 14,000	
研修委員会	45,820	0	△ 45,820	
2. 事 務 費	320,000	346,445	26,445	
旅 費	80,000	0	△ 80,000	交通費
消耗品費	60,000	109,534	49,534	事務品・コピー用紙・インク他
食 料 費	10,000	4,350	△ 5,650	各種打合せ会
印刷コピー費	20,000	25,200	5,200	封筒印刷・コピー使用
通 信 費	130,000	150,320	20,320	切手・ハガキ
備 品 費	20,000	57,041	37,041	メモリ・ゴム印・コピー機
3. 事 業 費	900,000	940,018	40,018	
会報印刷費	200,000	201,600	1,600	第57号・第58号
会報発送費	160,000	239,350	79,350	切手・宅急便
研 修 費	48,000	5,628	△ 42,372	中央研修会
派 遣 費	62,000	63,440	1,440	関東プロ会議
県北活動費	80,000	80,000	0	支部活動費
中央活動費	100,000	100,000	0	支部活動費
水戸活動費	50,000	50,000	0	支部活動費
鹿行活動費	70,000	70,000	0	支部活動費
県南活動費	100,000	100,000	0	支部活動費
県西活動費	30,000	30,000	0	支部活動費
4. 予 備 費	50,180	0	△ 50,180	その他
5. 雑 費	10,000	10,195	195	振込手数料・その他
合 計	1,430,000	1,367,141	△ 62,859	

収入合計 1,721,885 円
 支出合計 1,367,141 円
 差引残金 354,744 円

※上記のとおりご報告いたします。
 なお、差引き残金は平成21年度予算に繰越し致します。

平成21年度 本協議会事業計画書

1. 方針

- 1) 地域住民のスポーツ活動のニーズに対応して、生涯にわたるスポーツ活動への協力と支援を通じてスポーツ指導者の社会的地位向上に努める。
- 2) 資格保有者相互の親睦と連携につとめ、指導者としての資質や指導力の向上を図り、スポーツ活動の推進に努める。
- 3) 公認スポーツ指導者の本協議会加入の促進に努める。
- 4) 地域総合型スポーツ活動への参画に努める。

2. 目標

- 1) 本協議会の組織充実に努める。
 - ①本協議会の体制充実
 - ②支部組織の充実
 - ③市町村との連携・協調
 - ④競技団体との連携・協調
- 2) 研修会を開催して、資質と指導力の向上を図る。
- 3) 普及広報活動を充実させて、交流と情報交換を図る。
- 4) 財団法人茨城県体育協会および市町村体育協会事業への協力体制を充実させる。
- 5) 競技団体との連携強化を図る。

3. 事業

- 1) 平成21年度茨城県体育協会事業協力
 - ①平成21年度中央研修会（茨城県会場）
 - (1)期 日 平成21年 8月30日(日)
 - (2)会 場 水戸市・茨城県立青少年会館
 - (3)参加者 日本体育協会公認スポーツ指導者・各種スポーツ指導者
 - ②平成21年度地区研修会（鹿行支部会場）
 - (1)期 日 平成22年 1月31日(日)
 - (2)会 場 行方市・玉造農村環境改善センター
 - (3)参加者 日本体育協会公認スポーツ指導者・各種スポーツ指導者

- ③平成21年度地区研修会（県西支部会場）
 - (1)期 日 平成22年 2月21日(日)
 - (2)会 場 古河市・古河ユースセンター総和
 - (3)参加者 日本体育協会公認スポーツ指導者・各種スポーツ指導者
- 2) 平成21年度本協議会会報発行
 - ①会報59号発行
 - (1)発行月日 平成21年 9月予定
 - (2)製本部数 1200部
 - ②会報60号発行
 - (1)発行月日 平成22年 3月予定
 - (2)製本部数 1200部
- 3) 平成21年度日本体育協会研修会
 - ①平成21年度公認スポーツ指導者制度インフォメーション・オフィサー研修会議
 - (1)期 日 平成21年 5月15日(金)～16日(土)
 - (2)会 場 東京都・岸記念体育会館
 - (3)出席者 関口副会長・照沼理事長
 - ②平成21年度第1回全国スポーツ指導者連絡会議・関東ブロック会議
 - (1)期 日 平成21年 6月26日(金)～27日(土)
 - (2)会 場 埼玉県・さいたま共済会館
 - (3)出席者
 - ③平成21年度全国スポーツ指導者代表者会議
 - (1)期 日 平成21年12月11日(金)予定
 - (2)会 場 東京都・グランドプリンスホテル赤坂予定
 - (3)出席者
 - ④平成21年度公認スポーツ指導者全国研修会
 - (1)期 日 平成21年12月12日(土)予定
 - (2)会 場 東京都・グランドプリンスホテル予定
 - (3)出席者

平成21～22年度 本協議会役員選出について

①次の役員は本協議会規約第9条1項及び2項に基づいて、学識経験者、支部長または支部選出理事、競技団体理事から選考委員会で選出しましたので、総会の承認を求めます。

(役職名)	(定数)	
顧問	若干名	(俱体協課長)(野田洋平)(荒木浩二)
会長	1名	(照沼一美)
副会長	若干名	(島田昌和)(野内康二)(藤枝平造) (桜井孝之)(田畑由紀子)(関口毅) (青柳薫光)

②次の役員は本協議会規約第9条第3項に基づいて、理事の中から理事会で選出して会長委嘱しますので、報告いたします。

(役職名)	(定数)	
理事長	1名	(小澤一友)
副理事長	2名	(鈴木孝子)(白石邦生)

事務局長	1名	(鈴木義夫)
総務委員長	1名	(君和田毅)
広報委員長	1名	(岡野秀一)
研修委員長	1名	(青木利一)

③次の役員は本協議会規約第9条第4項に基づいて、理事及び会員から理事会で選出して会長委嘱しますので、報告いたします。

(役職名)	(定数)	
事務局次長	1名	(近藤康雄)
事務局員	2名	(又村和子)(風間富江)
会計	2名	(古杉進)(横張章)

④次の役員は本協議会規約第9条第5項に基づいて、会員から理事会で選出して会長委嘱しますので、報告いたします。

(役職名)	(定数)	
監査	2名	(鈴木欄子)(和田弘行)

平成21年度 収支予算書

収入の部

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
1. 会 費	960,000	960,000	0	4,000円×240名
2. 助 成 金	360,000	360,000	0	茨城県体育協会(21年度)
3. 繰 越 金	354,744	89,847	264,897	前年度繰越金(20年度)
4. 雑 収 入	55,256	20,153	35,103	利息・委員会返金・関プロ経費
合 計	1,730,000	1,430,000	300,000	

支出の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
1. 会 議 費	190,000	149,820	40,180	
総 会	30,000	30,000	0	
常 任 理 事 会	20,000	10,000	10,000	
理 事 会	50,000	50,000	0	
総 務 委 員 会	10,000	0	10,000	
広 報 委 員 会	30,000	14,000	16,000	
研 修 委 員 会	50,000	45,820	4,180	
2. 事 務 費	500,000	320,000	180,000	
旅 費	200,000	80,000	120,000	20年度分・21年度分
消 耗 品 費	80,000	60,000	20,000	
食 料 費	10,000	10,000	0	
印 刷 コ ピ ー 費	30,000	20,000	10,000	
通 信 費	130,000	130,000	0	
備 品 費	50,000	20,000	30,000	
3. 事 業 費	960,000	900,000	60,000	
会 報 印 刷 費	200,000	200,000	0	
会 報 発 送 費	240,000	160,000	80,000	
研 修 費	40,000	48,000	△8,000	
派 遣 費	70,000	62,000	8,000	
県 北 活 動 費	80,000	80,000	0	
中 央 活 動 費	100,000	100,000	0	
水 戸 活 動 費	30,000	50,000	△20,000	
鹿 行 活 動 費	70,000	70,000	0	
県 南 活 動 費	100,000	100,000	0	
県 西 活 動 費	30,000	30,000	0	
4. 予 備 費	10,000	50,180	△40,180	
5. 雑 費	70,000	10,000	60,000	20年度研修委員会分
合 計	1,730,000	1,430,000	300,000	

収入合計 1,730,000円
 支出合計 1,730,000円
 差引残金 0円

※上記のとおりご提案いたします。

支部だより

鹿行支部

副支部長

君和田 治也

鹿行支部としては毎年、公認指導者の資質向上を目指し研修会を行っております。そして、隔年毎に義務研修会が出来るよう、県スポーツ指導者協議会と調整してまいります。

鹿行支部の特色としては、役員メンバーに各市町村のスポーツ行政担当者が入って行政との連携を密にしながら地区のスポーツ振興に貢献出来る様、活動内容を決めています。

平成二十一年度役員会（七月一日）では総会も兼ね、二〇一〇年一月三十一日に行われる茨城県公認スポーツ指導者研修会の下準備も行いました。鹿行地区ではこの地区の体育指導員研修会を合同で開催する様行政の方と打ち合わせをしながら取り進め、地域スポーツ指導者の方がたくさん参加出来るように考えています。

十一月には鹿行支部だよりを発行し、スポーツ指導者への情報を伝えていきます。新たな情報を投げ掛け、少しでも指導者の方に刺激となるように、又、関心を持って頂けるように思っております。スポーツ指導者の方々の活躍の

場が増え、地域のスポーツが益々盛んになるよう少年団スポーツの方々を巻き込みスポーツ指導に一貫性のある指導が出来れば良いと思っております。

最後に、現スポーツ指導者協議会もどんどん若返る様に現役員さんの次の若い方をメンバーに入れ込み活動を伝えて行きたいと思っております。

県南支部

支部長

櫻井孝之

ここ数年県南支部の活動は、恥ずかしながら停滞しており、皆様に報告出来る活動も特に有りません。支部研修会が行われる年は、支部会員の協力も有ります。会員の方の活動は、各競技団主体であり、地域市町村に於いて夫々の活動を展開していると思えます。

各市町村の生涯スポーツや、地域総合スポーツクラブの活動は、資格指導者の活用を図る上で十分な現状です。指導者も各競技での活動が忙しく、他の活動には中々入り込めないと思われれます。指導者協議会の活動の場が、地区研修会と広報に限定している現状では、その存在意義を理解し、支部活動に参加して頂けないのではと思えます。県南の課題は他に比べて、横の連携が不足しており、いかに幅広く協力者を発掘してい

くかです。来年度は県南での地区研修会を是非開催し、其れを機に少しでも、支部活動の活性化に繋げて行ければと考えております。県南支部会員の皆様の一層のご協力をお願い致します。

市町村体育協会指導者や体育指導員、学校部活指導者を対象に、スポーツ少年団で行っている「スポーツリーダー」資格取得講習会を県協議会で開催できれば、幅広い地域指導者の共通認識が生まれ地域スポーツクラブや生涯スポーツ活動も活性を図れるのではと思われれます。ひいては当協議会の存在意義も高まるのかと思えます。

皆様にも一考頂ければと思えます。

県西支部

事務局長

近藤 康雄

現在、県西支部（七市三町）には日本体育協会公認指導員が平成二十一年十二月末で三七一名おります。県スポーツ指導者協議会には一五名入会しており、三年前と比較すると三十名程増加しました。

県西支部の行事として昨年、普救命講習会（AED実施講習会）を開催致しましたが参加者が少なく、今後はPR方法を考え、より多くの会員の方に参加して頂き

続いて実施して行きたいと考えております。

又、今回の地区研修会（二〇一〇年二月、県西地区開催）の講演にあります「総合型地域スポーツクラブの育成」について、県西支部の坂東市では既に積極的に実施しております。支部内の六市三町に少しでも多くのスポーツクラブが実現するよう県西支部会員の交流会を企画して進めて行きたいと思っております。

中央支部

事務局

野々村 律子

支部結成十三年を迎え、活動も軌道に乗ったと言えるでしょうか。年度初めの第一土曜日に支部総会を開催して、一年間が始まりという事になっております。支部研修会としては、支部中央に位置する笠松運動公園の施設を利用して行います。時間がとりにくい仲間の為にも日本体育協会公認指導員義務研修となりうる時間帯、手続きをと思っております。当面は講演Ⅰ、トレーニングの科学で自律神経のいろいろを学び、講演Ⅱ、研究協議では、総合型スポーツクラブへの知識をいろんな角度から見つめ直し、これからの個々人の活動に役立てて貰える様にと、思っています。

上級救命資格取得者も五十名を超し、この後もこの人達の更新講習会を、そして新たな資格取得講習会を継続して開催して行こうと考えております。近頃めつきり身の周りで目にする機会が多くなつた「AED」自動体外式除細動器の知識を学び、何事かあった人の命を救うために、救急車が来るまでの数分間、そばに居合わせた時、応急手当の救命措置に良い形で、関わる事が出来ればと思つているところでもあります。

水戸支部

支部長
藤枝 平造

本年度は総合型スポーツクラブを一ヶ所開設し、他地域でも設立に向け、平成二十二年度に、新しい取組みにあたり、生きがいのある生活と活力ある生涯、スポーツ社会の形成を実現したい。

これからのスポーツ振興に関する日本体育協会の使命は、県民の一人ひとりが、豊かで活力のある「生活と暮らし」を目指し、生涯を通じたライフステージにおいて、自己の能力、適性、興味、関心等に応じ、主体的にスポーツ文化を豊かに享受することのできるという社会、いわゆる生涯スポーツ社会を実現していくということです。

茨城県民のスポーツ振興に関する、更なる資質向上と活動促進、指導の連帯感を深める組織的活用をはかる計画であり、高齢者や障害のある人を含め、あらゆる人々のスポーツニーズに対応した具体的施策や、スポーツ環境の整備を推進し、生涯を通じて、スポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会」、の活性化を目指すものといえます。

主体的に、県内スポーツ関係者の方々から意見をいただき、水戸市の行政担当者、種目別の体育指導者で役員会を開き、それぞれ、担当者より指導を受け、我々の活動をサポートしていただいたことにより、スポーツの振興に良い、結果がでるものと思つていきます。以後、茨城県スポーツ指導者協議会、支部の会議、それ等の指導者の役割、研修を重ね、心と身体心地よい状況や環境を醸成する気構えを望みたい。

県北支部

支部長
野内 康二

県北支部では六月二十日(日)支部総会を開催し「平成二十二年度事業計画」を

- 一、支部総会の開催
- 二、役員会及び委員会の開催
- 三、研修会の開催
(上級救急救命講習)
- 四、支部会報の発行

お知らせ

住所変更及び改姓した場合
必ず変更届をして下さい。

【連絡先】 〒306-0204
茨城県スポーツ指導者協議会
事務局 古河市下大野1463-4
鈴木 義夫
TEL 0280-92-4555
FAX 0280-92-4555

- (第三十四号・三十五号)
 - 五、スポーツ保険の加入
 - 六、近隣市町村への協力
 - ・日立市さくらロードレース
 - ・日立市女性センター祭り
 - ・常陸太田市市民グラウンド
 - ・ゴルフ大会
 - ・常陸太田市
- 「歩け歩け大会」
に定め、完全実施に向け鋭意努力することを確認しました。
- 現在、お陰さまで事業は計画通り遂行しつつあり、未執行の二月二十二日「上級救急救命講習」の開催、三月七日常陸太田市「歩け歩け大会」協力への協力者の人選又、これ等の活動を紹介すべく、「あみーご」第二十五号の発行に向け、研修委員会、広報委員会を中心に役員の方々に鋭意努力を頂いている所であります。会員の皆様に於かれましては、尚一層のご理解とご支援をお願い致します。





みんなの広場



卓球に魅せられて五十五年

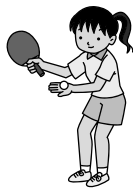


中央支部

大森 對子

私は昭和五十年に、東海村の意向でスポーツ指導者のC級をとり、十年後B級をとり制度が変わって、上級指導者となり現在活動をしています。私が資格を取るきっかけは、東海村に総合体育館が出来るため、村の意向で指導者資格を取るようになりました。自

分が指導者になる自信はありませんでした。資格をとらせていただいたので村の卓球教室、中学校の派遣指導、家庭婦人の指導に関わることになりました。その間、看護師の仕事もし三人の子供も育てあげ、卓球では一般・レディース部の試合にも出場し全国レディース大会・全国マスターズ大会にも出場しています。八年前より県卓球連盟のレディース部の理事・村の理事などを任せられ多忙な日々を送っています。仕事も卓球もこんなに頑張っているのは、スポーツで鍛えた強健な体と心を養うことが出来たのではないかと思います。現在は仕事をしていないので月四回程、良い指導をするためにレッスンを受け新しい技術を身につけています。個性を活かした指導、家庭婦人には、楽しく健康増進を希望する人にはレベル別の試合で力をためすなど、中学生には勝つための技術・精神力を養う方法など個々に合わせた指導が出来る様、努力していきたいと思えます。そして私も小学五年生から卓球を始め現在まで続いたのは、卓球が楽しかったからだ実感しています。体の続くかぎり現役選手で卓球の輪を広げていきたいと思っています。



いつでも だれでも いつまでも



県西支部

小松崎 勉

今、桜川市では、新しいスポーツの楽しみ方としての「総合型地域スポーツクラブ」を、平成二十二年十二月までに設立しようと準備委員会を作り、地域で活動している体育指導員やスポーツ指導員、スポーツ愛好家の有志(三十六名)が集まり、設立のため毎月の打ち合せをしています。今までスポーツといえば、学校単位の部活動、地域企業のクラブ又は競技優先のクラブ活動が中心でした。

我々が立ち上げようとしている「総合型のクラブ」は、老若男女誰もがその場所に来ればスポーツができる、そんなクラブを立ち上げることを目標に活動中です。

当初は誰もわからない、何もない「無」の状態からのスタートでした。毎月の定期会合の中でも、意見が分かれてしまいいかなかまとまりません。そんな中、現在活動している総合型スポーツクラブ「クラブ幸手」を視察し徐々に我々のすすむべき方向性も見えてきま

した。これらを参考に桜川市の「総合型スポーツクラブ」の方向性を固めていこうと思います。今後は、メンバーがおのおのに任せられた役割をこなし、力を合わせてすばらしいスポーツクラブを作りたいと思います。



大塚製薬株式会社
露木 亮氏からスポーツ時の水分補給の重要性などについて情報提供をいただきました。

スポーツ少年団に 思うこと



県南支部
宮下 英彌

平成二十一年度全国加入状況が発表され、茨城県は、単位団第三位、団員第三位、指導者第二位となっています。これも県内各地の地域が青少年育成に力を入れている現われと大変素晴らしいことだと思います。反面、活動についてはさまざまな問題もかかえており、指導者の質の問題、団の運営問題等の発展途上においての一過程と見過ごすことができない問題も研修会の場で提言されています。指導者においても子どもの体力、知力を考えずに勝利主義、勝利至上主義が先行してスポーツを継続できない子どもや、指導者の言葉の暴力、差別による精神的な傷を負う子どもも少なくないといわれています。指導者の高齢化や、中学、高校での部活動、少年団活動の停滞が次世代の指導者リーダーを育成する上での障害になっていると思われまます。私たち指導者は、現状に満足することなく、常に少年団の指導者であることの自覚を持ち、子どもたちが遊びの時のよう

なのびのびとした身体活動ができるよう指導することを心がける必要が求められるときと思えます。地域とともに、地域に愛される団活動であり、将来に大きな夢を持って育つ子どもたちを温かく見守っていく指導者でありたいと考えています。

平成21年度茨城県スポーツ指導者研修会（鹿行地区研修）



鹿行研修会 実技講習スナップ

編集後記

茨城県スポーツ指導者協議会広報紙をお読みいただきありがとうございます。

これからもより良い広報紙を作成するため皆様からのご意見ご要望をお待ちしております。

また、第五十九号会報の発行が遅れたことをお詫び申し上げます。

広報委員会

担当副会長

島田 昌和

広報委員長

岡野 秀一

広報委員

菅谷 政宏(県北支部)

舛井 幸子(水戸支部)

柏葉 光子(中央支部)

君和田治也(鹿行支部)

坂本 允(県南支部)

又村 和子(県西支部)